

新専務理事登場



日本電線工業会

阿部 茂信氏

日本電線工業会の専務理事に6月6日付で就任した。同会が掲げる4つの重点活動テーマのうち、特に中堅中小企業の経営基盤強化支援と商慣習の改善に注力する方針。「全体を俯瞰しながら業界最適が何かを会員社の皆さんと一緒に考えていけたら」と意気込む。

中堅中小企業の支援は業界として外国人労働者

中小支援と商慣習改善

採用の可能性を模索。「具

の理解を得るための業界としてのピーアールや、銅価変動分を製品価格に反映できるようにすると

要」との考えを示す。

商慣習の改善にも取り組む。足元で続く銅価格の乱高下に伴い、会員社の事業リスクは極大化。

「サプライチェーン全体

点を課題と捉える。電線

の事業リスクは極大化。

電線業界の実情が外部

「サプライチェーン全体

に正しく伝わっていない

点

情の共有につながるの

点

を把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

量

量的把握が会員社との実

情

の共有につながるの

で

なくとも生産と販売の定

工業会として電線の生産量を把握できている一方で、販売量は把握に至っていないことを例に挙げ、「昨年来の電線不足といったこともそうだ。少なくとも生産と販売の定量的把握が会員社との実情の共有につながるの

経験を生かすとともに、会員社などと対話しつつ、市場や環境の変化に合わせて方向性や動きを一緒に示せれば」と新たな決意もにじませる。

(松田 元樹)

は」と指摘する。

古河電工に入社後は中東の地中送電線の案件に従事。香港駐在時は中国、香港の電力会社向けの営業に励んだ。日本に戻ってからは、自動車用ワイヤハーネスを中心とした事業戦略や企画に注力。

「民需の最たるものとなる自動車の仕事で培った

▽阿部茂信(あべ・しげのぶ)氏1985年上智大外卒、古河電気工業入社。2016年執行役員。19年執行役員兼古河AS社長。20年執行役員常務兼古河AS社長。24年自動車部品事業部門アドバイザー。

趣味は城巡り。仕事では「何事も一生懸命やれば、すぐに結果が出なくても誰かが見て評価してくれる」という思いを大切にする。61年9月20日生まれ。福井県出身。